

令和 7 年度

第 1 回 柏市放課後子ども総合プラン運営委員会

会 議 資 料

令和 7 年 1 1 月 7 日

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（生涯学習部長）
- 3 委員自己紹介
- 4 委員長・副委員長の選出
- 5 これまでの振り返りと計画の位置づけ
 - (1) 放課後子ども総合プラン（背景）
 - (2) 放課後児童対策パッケージについて
 - (3) 計画の位置づけについて
- 6 報告事項
 - (1) 放課後子ども教室とこどもルームの現状について
 - (2) アフタースクール事業の概要と進捗状況について
- 7 協議事項
令和８年度以降の本委員会の在り方について
- 8 次回開催予定
- 9 閉会

柏市放課後子ども総合プラン運営委員名簿

所 属	氏 名 ※敬称略・五十音順
酒井根中学校区 学校運営協議会 会長	五味田 博 美
柏市PTA連絡協議会 副会長	木 村 能英子
かしわ子育てまちづくりネットワーク ここっと	佐 藤 秀 太
開智国際大学 教育学部教育学科 教授	土 井 雅 弘
柏市立高柳小学校 校長	福 田 美 和
柏市青少年相談員連絡協議会	山 口 恵 美

柏市放課後子ども総合プラン運営委員会事務局名簿

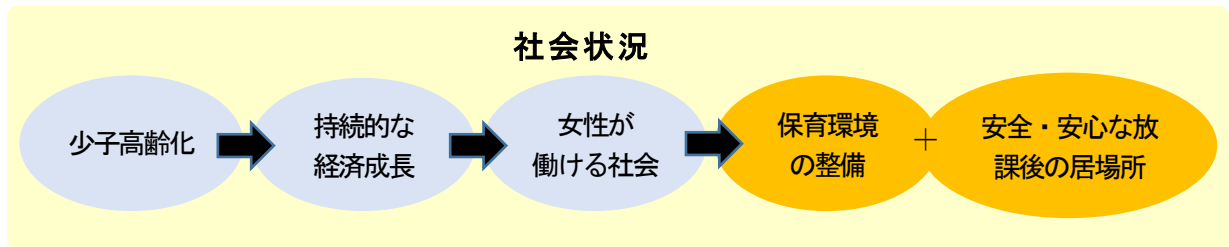
所 属 （機構順）	氏 名
こども部長	依 田 森 一
生涯学習部長	宮 本 さなえ
生涯学習部 生涯学習課長	田 中 義 通
生涯学習部 アフタースクール課長	田 所 英 樹
学校教育部次長兼 学校教育課長	原 竜太郎
その他各課担当職員	

目 次

1	これまでの振り返りと計画の位置づけ	
(1)	放課後子ども総合プラン（背景）	5
(2)	放課後児童対策パッケージについて	6
(3)	計画の位置づけについて	7
2	報告事項	
(1)	ステップアップ学習会の実施状況について	8
(2)	体験型放課後子ども教室の取り組み状況について	9
(3)	居場所型放課後子ども教室の取り組み状況について	10
(4)	こどもルームの状況について	11
(5)	アフタースクール事業の概要と進捗状況について	12
3	協議事項	
	令和8年度以降の本委員会の位置づけについて	16
添付資料		
別紙1	評価項目及び評価基準	
別紙2	プレゼンテーション用採点表	
別紙3	柏市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要領	

1 これまでの振り返りと計画の位置づけ

(1) 放課後こども総合プラン（背景）



放課後子ども総合プラン策定（文科省・厚労省）

【計画期間】 平成 31 年度末まで

【趣旨・目的】

共働き家庭等の「小 1 の壁」打破及び次代を担う人材の育成

【目標】

- ・ 放課後児童クラブ約 30 万人分整備し 122 万人へ
- ・ 1 万か所以上を放課後子ども教室と一体型で実施

【市町村の体制】 行動計画作成 運営委員会設置

＜目標＞

柏市放課後子ども総合プラン策定

放課後子ども教室と放課後児童クラブ 41 校で一体型を目指す。

新・放課後子ども総合プラン策定（文科省・厚労省）

【計画期間】 令和 5 年度末まで（5 年間）

【趣旨・目的】 ニッポン一億総活躍プラン（閣議決定）による
目標前倒し・一体型加速化

【目標】

- ・ 放課後児童クラブ約 30 万人分追加整備し 152 万人へ
- ・ 1 万か所以上を放課後子ども教室と一体型で実施

【市町村の体制】 行動計画作成 運営委員会設置

新・柏市放課後子ども総合プラン策定

＜目標＞ 放課後児童クラブ：年度ごとの整備目標を設定

放課後子ども教室：42 校実施後の利用者数目標を設定

一体型促進のための具体的方策として情報共有

平成
26
・
7

平成
27
・
3

目標 1 年前倒し

平成
30
・
9

平成
31
・
3

令和 7 年
3 月 31 日
まで

1(2) 放課後児童対策パッケージについて

「新・放課後子ども総合プラン」は令和5年度末までのプランであったが、結果として放課後児童クラブの受け皿は目標であった152万人分には届かず、待機児童数は依然として1.6万人存在していた。

この状況は、すべての子どもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場所が不足していることを示しており、今後居場所を拡充していくことが課題であった。

このため、文部科学省とこども家庭庁の両省庁では、放課後児童対策を一層強化し、こどものウェルビーイングの向上と共働き・共育での推進を図るため、集中的に取り組むべき対策として、令和5～6年度に取り組む内容として「放課後児童対策パッケージ2024」をまとめた。

その後、令和6年12月に前述のパッケージの後継として令和6～7年度に取り組む内容として「放課後児童対策パッケージ2025」が新たに発出された。

放課後児童対策パッケージ2025（令和6年12月）概要	
こども家庭庁 文部科学省	
趣旨	➢ 「新・放課後子ども総合プラン」「放課後児童対策パッケージ2024」の実施により、受け皿確保は目標としていた152万人分をほぼ達成（151.9万人）。一方で、待機児童数は令和6年5月1日時点で1.8万人と、令和5年度の同時期（1.6万人）に比べて増加。
	➢ 待機児童対策の一層の強化と放課後の児童の居場所確保に向け、こども家庭庁と文部科学省が連携し、予算・運用等の両面から令和6～7年度に集中的に取り組むべき対策として充実を図り、パッケージを改訂するものである。
1. 放課後児童対策の具体的な内容について	
(1) 放課後児童クラブにおける待機児童の解消策	
放課後児童クラブの実施状況（R6.5.1） 登録児童 151.9万人 待機児童 1.8万人 （R6.10.1） 登録児童 147.1万人 待機児童 0.9万人	
1) 放課後児童クラブを開設する場の確保	
① 施設整備に係る補助率の嵩上げ[R6補正] ② 学校（校舎、敷地）内における整備推進 ③ 学校外における整備推進（補助引き上げ） ④ 賃貸物件等を活用した受け皿整備の推進（補助引き上げ） ⑤ 学校施設の積極的な活用 ⑥ 保育所等の積極的な活用 ⑦ 民間事業者による参入支援[R6補正] ⑧ スマートコンセッションによる事業所整備の周知	
2) 放課後児童クラブを運営する人材の確保	
① 常勤職員配置の改善 ② 職員に対する処遇改善 ③ 職員の確保支援[R6補正] ④ 平日夜間の人材確保支援[R7拡充] ⑤ 保育士・保育所支援センター等やハローワークと連携した人材確保支援 ⑥ ICT化の推進による職員の業務負担軽減[R6補正] ⑦ 育成支援の周辺業務を行う職員の配置による業務負担軽減 ⑧ 放課後児童クラブ分野のDX化による職員の業務負担軽減[R6補正]	
3) 適切な利用調整（マッチング）	
① 正確な待機児童数把握の推進、待機児童の詳細の公表 ② 利用調整支援や送迎支援の拡充による待機児童と空き定員のマッチングの推進等	
4) 時期的なニーズ等への対応	
① 夏季休業期間中における開所支援[R7拡充] ② 年度前半の開所支援のあり方の検討 ③ 支援の単位あたりの児童数の考え方の検討	
5) 自治体へのきめ細かな支援とコミュニティ・スクールの仕組みの活用推進	
① 待機児童が多数発生している自治体への支援 ② コミュニティ・スクールの仕組みを活用した放課後児童対策の推進	
(2) 全てのこどもが放課後を安全・安心に過ごすための強化策	
1) 多様な居場所づくりの推進	
① 放課後児童クラブと放課後子供教室の校内外交流型・連携型の推進[R7拡充] ② こどもの居場所づくりの推進（モデル事業、コーディネーター配置）【一部R6補正、R7拡充】 ③ コミュニティ・スクールの仕組みを活用した放課後児童対策の推進（一部再掲） ④ 特別な配慮を必要とする児童への対応【一部R6補正】 ⑤ 放課後児童クラブ待機児童への預かり支援実証モデル事業[R6補正] ⑥ 朝のこどもの居場所づくりの推進（好事例周知、機運醸成等） ⑦ 能登半島地震を踏まえた災害時の放課後等におけるこどもへの支援	
2) 放課後児童対策に従事する職員やコーディネーターする人材の確保	
① 常勤職員配置の改善（再掲） ② こどもの居場所づくり支援体制の構築等を行うコーディネーター配置支援（再掲） ③ 地域学校協働活動推進員の配置促進等による地域学校協働活動の充実	
3) 質の向上に資する研修の充実等	
① 放課後児童対策に関する研修の充実 ② 性被害防止、不適切な育成支援防止等への取組【一部R6補正】 ③ 事故防止への取組 ④ 「はじめの100か月の育ちビジョン」と連携した広報 ⑤ 放課後児童クラブ運営指針の改正 ⑥ いじめの「スキマバイト」への対応	
2. 放課後児童対策の推進体制について	
(1) 市町村、都道府県における役割・推進体制	
① 市町村の運営委員会、都道府県の推進委員会の継続実施 ② 総合教育会議の活用による総合的な放課後児童対策の検討	
(2) 国における役割・推進体制	
① 放課後児童対策に関する二省庁会議の継続実施 ② 放課後児童対策の施策等の周知	
3. その他留意事項について	
(1) 放課後児童対策に係る取組のフォローアップについて	
① 放課後児童クラブの整備<152万人の受け皿整備を進め、できる限り早期に待機児童解消へ> ② 放課後児童クラブと放課後子供教室の連携<同一小学校区内でできる限り早期に全てを連携型へ> ③ 学校施設を活用した放課後児童クラブの整備<新規開設にあたり所管部局が求める場合、できる限り早期に全て学校施設を活用できるように>	
(2) 子ども・子育て支援事業計画との連動について	
(3) こども・子育て当事者の意見反映について	

※丸数字の下線は、主な新規・加筆項目

1（3）計画の位置づけについて

令和6年度末までは次世代育成支援対策推進法及び国が示した「新・放課後子ども総合プラン」に基づき「新・柏市放課後子ども総合プラン」を策定し行動計画として位置付けていた。

「新・放課後子ども総合プラン」については令和6年3月をもって計画期間を満了しているが、「新・柏市放課後子ども総合プラン」については計画期間を1年間延長したため、令和7年3月で計画期間満了となっている。

ついでには、「新・柏市放課後子ども総合プラン」とも整合性が図られていたという点を踏まえ、子ども・子育て支援法第61条に基づいて、市町村子ども・子育て支援事業計画として位置付けられている「第三期柏市子ども・子育て支援事業計画」の内容を再度見直し、アフタースクール事業に関する内容も組み込むことで、今後の行動計画として位置付けていきたい。

2 報告事項

(1) ステップアップ学習会の実施状況について

地域のボランティアが中心となり小学校の放課後に空き教室を活用し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を目的として学習会を実施した。

令和7年5月現在																					
学校 No.	学校名	令和6年度								令和7年度										参加者 増減	特記事項
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	登録割合	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	登録割合 (見込)				
1	柏第一小			30				30	31%			24				24	26%	△ 6	理科		
2	柏第二小		25					25	46%		30					30	38%	5			
3	柏第三小		55					55	30%		47					47	27%	△ 8	理科		
4	柏第四小		31	35	9			75	2年:28% 3年:33% 4年:8%		34	32				66	2年:35% 3年:29%	△ 9	理科		
5	柏第五小		58	72				130	2年:43% 3年:45%		63	46				109	2年:43% 3年:33%	△ 21			
6	柏第六小		29	33				62	2年:39% 3年:38%		31	19				50	2年:31% 3年:25%	△ 12			
7	光ヶ丘小						8	8	6%					12	5	17	5年:7% 6年:4%	9			
8	土 小	40	33	24	17			114	1年:53% 2年:51% 3年:29% 4年:27%	40	31	22	13			106	1年:63% 2年:38% 3年:32% 4年:15%	△ 8	理科, 体験型		
9	富勢小	30	47	37				114	1年:41% 2年:48% 3年:32%	36	28	41				105	1年:39% 2年:39% 3年:40%	△ 9	理科, 体験型		
10	田中小	117						117	68%	104						104	58%	△ 13			
11	田中北小											82				82	37%	82			
12	土南部小			23				23	35%			27				27	35%	4			
13	柏第七小		75	70				145	2年:56% 3年:42%		49	58				107	2年:31% 3年:41%	△ 38	夏休み		
14	柏第八小			24				24	31%			29				29	36%	5			
15	酒井根小		26					26	27%		25					25	26%	△ 1			
16	西原小			51				51	47%			22				22	21%	△ 29			
17	旭小			44				44	44%			43				43	54%	△ 1	理科		
18	藤心小		18	17				35	2年:40% 3年:53%		19	6				25	2年:58% 3年:14%	△ 10			
19	中原小		30					30	30%		35					35	36%	5			
20	酒井根西小		15	24				39	2年:72% 3年:40%	15	8	14				37	1年:35% 2年:20% 3年:50%	△ 2			
21	高田小		33					33	43%		40					40	47%	7	理科, 図書		
22	名戸ヶ谷小			31				31	52%			19				19	27%	△ 12			
23	増尾西小		37	32				69	2年:37% 3年:30%		34		30			64	2年:42% 4年:27%	△ 5			
24	逆井小		24	31				55	2年:59% 3年:62%		16	22				38	2年:42% 3年:54%	△ 17			
25	富勢東小	10	5	5				20	1年:83% 2年:31% 3年:21%	10	5	2				17	1年:59% 2年:42% 3年:12%	△ 3	理科		
26	豊 小		28	42				70	1年:38% 2年:53%		38	28				66	2年:42% 3年:35%	△ 4	理科		
27	酒井根東小			28				28	49%			27				27	44%	△ 1	体験型		
28	旭東小		41					41	79%		29					29	71%	△ 12			
29	松葉一小		45					45	44%		22					22	21%	△ 23			
30	花野井小		28	31				59	2年:55% 3年:55%		21	24				45	2年:42% 3年:40%	△ 14	理科		
31	松葉二小			30				30	28%			13				13	16%	△ 17	理科		
32	富勢西小		23	7				30	2年:61% 3年:38%		14	24				38	2年:61% 3年:63%	8			
33	十余二小			35				35	38%			12				12	15%	△ 23			
34	風早南小			26				26	60%			27				27	69%	1			
35	風北小			39				39	35%			9				9	10%	△ 30			
36	手賀西小			18				18	86%			12				12	92%	△ 6	理科		
37	手賀東小			9	9		1	19	3年:69% 4年:60% 6年:14%							0					
38	高柳小			34				34	32%							0			居場所		
39	大津一小		14	17				31	2年:36% 3年:31%			16	16			32	3年:38% 4年:29%	1	理科		
40	大津二小		23	23				46	2年:42% 3年:50%		7	17				24	2年:13% 3年:30%	△ 22			
41	高柳西小		17	21				38	2年:47% 3年:64%		19	15				34	2年:49% 3年:38%	△ 4			
42	柏の葉小											70	70			140	3年:31% 4年:30%		夏休みのみ 実施		
合計		197	760	943	35	0	9	1,944	42%	205	645	802	129	12	5	1,798	34%	△ 146			

2(2) 体験型放課後子ども教室の実施状況について

平日の放課後・夏休みに子ども同士や地域の交流、多様な体験を目的とした体験教室を学校内で実施した。

また、講師は地域人材を活用し、内容は運動系、文化芸術系などを取り入れ、多くの子どもが参加できる機会を提供した。

令和7年度平日・夏休み体験型教室実施実績

令和7年10月1日時点

富勢小学校（平日・夏）			土小学校（平日・夏）			酒井根東小学校（夏のみ）		
日	人	内容	日	人	内容	日	人	内容
6/26 9/25	9 5	ねぶた囃子	6/16	2	スナッグゴルフ	7/22 7/23 7/24	3 2 3	調べる学習教室
7/10	17	レクリエーション	6/16 9/4	2 8	ボッチャ	7/22 7/23	5 12	算数教室
7/23 7/24 7/28 8/25 8/26	6 6 5 4 5	調べる チャレンジ	6/16 9/4	6 7	卓球	7/24 7/25	10 12	おもしろ英語教室
7/23 7/24 7/25	21 22 22	算数 チャレンジ	7/22 7/23 7/24	7 7 7	調べる学習チャ レンジ教室	7/22 7/23 7/24	20 17 13	おもしろ実験教室
7/23 7/24 7/28 8/25 8/26 8/27	6 6 4 6 5 6	自由研究 チャレンジ	7/22 7/23 7/24	5 4 4	自由研究チャレ ンジ教室	7/22 7/24	9 26	おもしろガラススタイル工作 教室
7/29 7/30 7/31	94 86 95	ごみのゆくえ を追え チャレンジ	7/22 7/23	21 30	算数面白 チャレンジ教室	7/24 7/25	11 9	おもしろゼンタングル教室
			7/22	2	座禅に チャレンジ教室	7/22	30	おもしろアクアリウム教室
			7/24	5	ユーモア 川柳教室	7/23	20	おもしろランタン作り教室
			7/22	11	竹細工 チャレンジ教室	7/23 7/25	7 19	おもしろ墨流し教室
			7/23 7/24	3 9	増尾音頭&柏お どりを踊ろう教 室	7/24 7/25	9 18	おもしろ紙飛行機教室
						7/22 7/24	7 10	おもしろウクレレ教室
						7/23 7/24	10 3	おもしろフラダンス教室
						7/25	18	おもしろレクダンス教室

2(3) 居場所型放課後子ども教室の実施状況について

1 概要

子どもたちに安心安全な場所を提供し、子どもが主体的に遊びや体験活動等を行うことで、健全な成長を目指すことを目的としている。実施場所は小学校の空き教室や体育館を中心としている。

ア 利用対象

1～6年生の全児童

イ 実施校

柏市立高柳小学校

ウ 開設日時

授業のある平日のみ

放課後からパンザマストまたは16時40分までのいずれか早い時間

エ 運営スタッフ（1日あたり）

放課後子ども教室コーディネーター 1名

地域の有償ボランティア 3～4名

オ 利用料金

無料

カ 体験プログラム

毎週木曜日に実施

2 児童の参加状況

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
在学児童数（5月時点）	104名	112名	121名	111名	113名	99名	660名
登録児童数（5月時点）	42名	61名	60名	56名	29名	21名	269名
延べ参加児童数 （4/11から9/30まで）	956名	1,323名	492名	215名	20名	4名	3,010名

※1年生は5月19日から参加開始

3 体験プログラムの実施状況

5/1	紙ひこうき大会	6/5	紙ひこうき大会	9/4	防災安全教室
5/8	ねぶた囃子	6/12	バスケットボール教室	9/11	工作教室
5/15	ワークショップ	6/26	バスケットボール教室	9/25	工作教室
5/22	あそびの博士になろう	7/10	かるた教室		
5/29	あそびの博士になろう	7/17	かるた教室		

2(4) こどもルームの状況について

1 こどもルーム開設数

全42小学校区において、43ルームを開設

2 対象児童・入所児童数

対象：保護者が共働きなどで、昼間帰宅しても保育する人がいない児童

こどもルーム入所児童数の推移（各年5月1日時点）

	R3	R4	R5	R6	R7
入所児童数	3,775人	3,879人	4,234人	4,543人	4,843人
全児童数	22,015人	22,018人	21,951人	22,125人	22,152人
入所率	17.1%	17.6%	19.3%	20.5%	21.9%
待機児童数	22人	40人	40人	131人	147人

3 開所時間

開所時間		休所日
平日	13:30~19:00	日曜日、祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)
土曜日	8:00~18:30	
夏休み等の長期休業期間中の平日	8:00~19:00	

※ 長期休業期間中は、早朝時間外保育（7:00~7:59）あり

4 保育料

月額10,000円（8月のみ15,000円）

※2人以上が入所している世帯は2人目以降の半額

5 施設整備（保育室の増設や改修）

区分	対象	改修内容
新規建設する こどもルーム	光ヶ丘小こどもルーム 第三・第四保育室	木造2階建て 延べ面積313.84㎡ 各保育室40人（計80人定員）

6 指導員の採用状況（各年5月1日時点：人）

	R3	R4	R5	R6	R7
支援員	136	138	132	131	138
補助員	183	182	187	166	176
サポート指導員	67	74	81	110	113
合計	386	394	400	407	427

2(5) アフタースクール事業の概要と進捗状況について

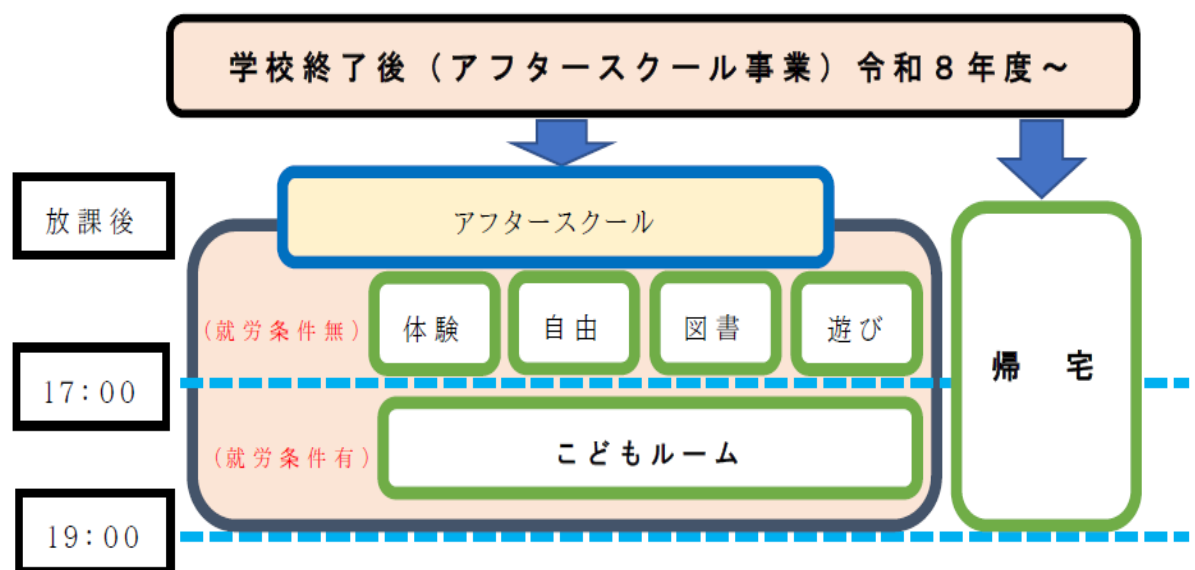
ア 目的

小学校において、放課後等に多種多様な体験活動や生活の場を提供することで、希望する全ての児童が安全で安心して自分らしく過ごすことができる放課後等の居場所の充実を図り、児童の健全な育成を支援すること。

イ 内容

こどもルームや学校の空き教室、体育館等を活用し、全ての学年の児童が自らの興味や関心に応じて過ごし方を自由に選択できるとともに、従来のこどもルームのように保護者が就労要件等を満たす場合は19時まで預かり利用の制度を設けている。

※イメージ図



ウ 事業開始時期

令和8年4月1日

エ アフタースクール事業実施校及び運営事業者

市内20校を2ブロックに分け、2者に運營業務を委託するためにプロポーザル方式により選定した。

※残り22校については令和9年度の実施を目指し現在調整中

株式会社明日葉

契約金額：1,780,484,758 円（3 年間分）

田中小	田中北小	松葉第一小	松葉第二小
富勢小	旭小	柏第四小	柏第五小

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

契約金額：1,760,333,520 円（3 年間分）

名戸ヶ谷小	柏第八小	柏第三小	大津ヶ丘第一小
高柳小	高柳西小	光ヶ丘小	豊小
酒井根小	土小	土南部小	酒井根東小

オ 対象児童

1～6 年生までのすべての児童

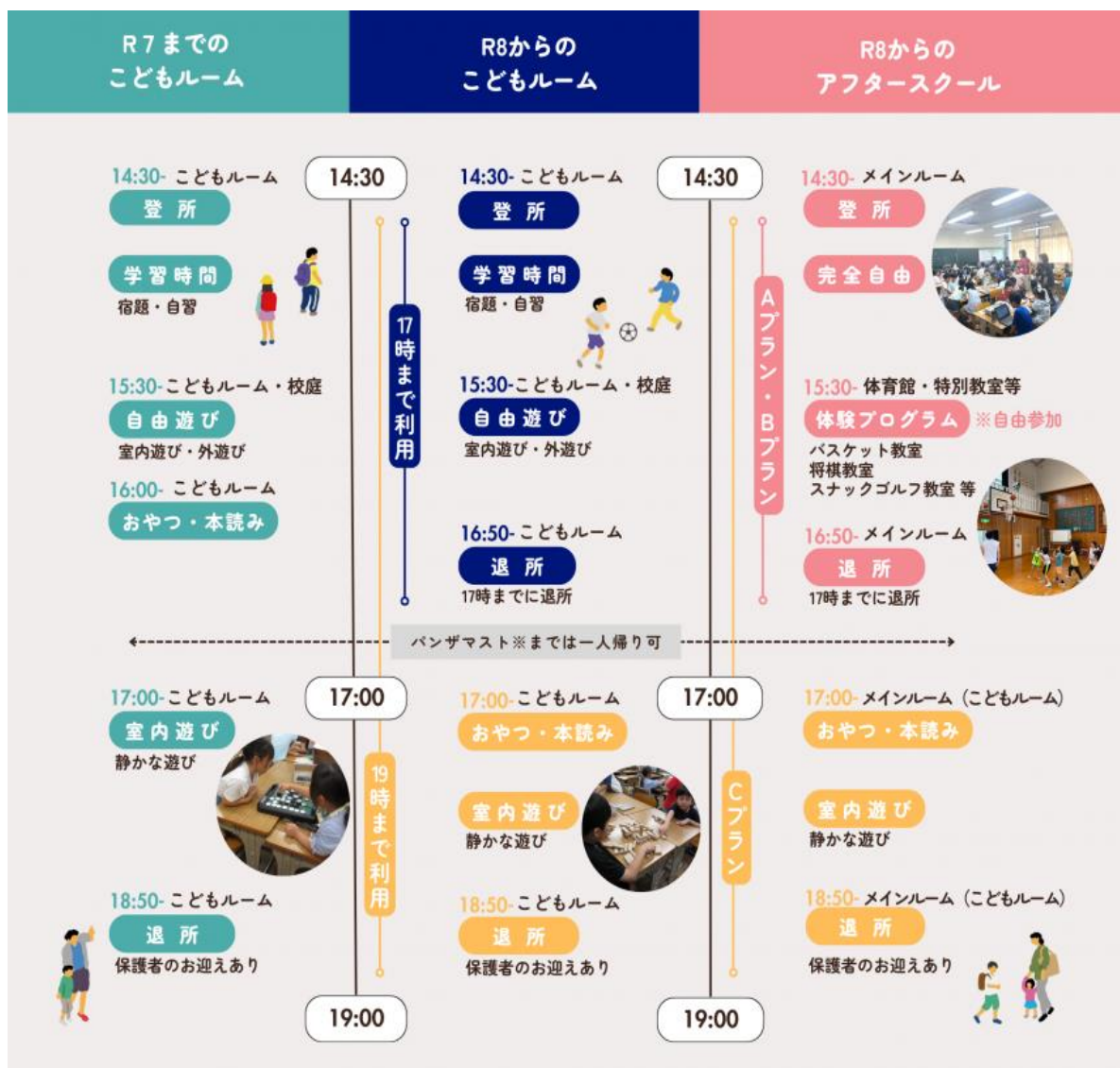
カ 利用形態

3 つの利用プランを設けており、それぞれのプランについては表のとおり

	A プラン	B プラン	C プラン
利用可能日	・ 長期休業期間中を含む <u>平日のみ</u>	・ 平日 ・ 土曜日 ・ 振替休日	・ 平日 ・ 土曜日 ・ 振替休日
利用可能時間	・ 学校がある平日：放課後～17 時 ・ 長期休業期間中の平日：8 時～17 時	・ 土曜日・振替日： 8 時～17 時	・ 学校がある平日：放課後～19 時 ・ 長期休業期間中の平日：8 時～19 時 ・ 土曜日・振替日：8 時～19 時
基本利用料	月額 4,000 円 (8 月のみ 9,000 円)		月額 8,000 円 (8 月のみ 13,000 円) 別途おやつ代 月額 2,000 円

	A プラン	B プラン	C プラン
早朝保育の利用 (長期休業期間のみ)	不可	可	
利用要件	なし	あり	あり
おやつ提供	なし	なし	あり

キ 1日の過ごし方のモデル



ク 体験プログラムの提供

地域講師・ボランティア・企業・団体と連携を図り、放課後子ども教室（ステップアップ学習会等）の要素も含んだ、体験プログラムや継続的な学習プログラムを提供します。



ケ 進捗状況について

6月25日	柏市アフタースクール条例 議決
7月10日	受託事業者の公募開始
8月27日	プレゼンテーション審査実施 (プロポーザル方式による選定)
9月 1日	プロポーザル方式選定結果通知
10月 3日	受託事業者と契約締結
10月14日 ～ 10月20日	会社説明会（こどもルーム指導員）実施
10月21日～	個別面談（こどもルーム指導員）実施

3 協議事項

令和 8 年度以降の本委員会の在り方について

1 現状

平成 26 年に放課後子ども総合プラン計画が文部科学省及び厚生労働省によって策定されて以来、その目標は放課後児童クラブにおける児童の受け皿の確保の拡大であった。柏市の行動計画においても同様の目標を設定し、その目標達成に向けた議題を多角的な観点から協議する場として本委員会が設置された。しかし、近年の国の打ち出す指針ではより一層の待機児童対策や多様な居場所づくりの推進に重点を置いている傾向がある。

2 今後求められるもの

柏市においてもそれらの国の指針を鑑み、方策の一つとして民間事業者によって放課後児童クラブ（こどもルーム）と放課後子ども教室を一体的に運用するアフタースクール事業の実施を進めているところである。

アフタースクール事業は令和 8 年度から市内 20 校において実施されるが、残り 22 校についても令和 9 年度の実施を目指し準備を進めているところであり、最終的には市内全 42 校において本事業を展開することを目標としている。また、本事業は初の民間事業者による運営であるため次の点を目的とした評価を行う必要があると考える。

- ①待機児童をなくすための効率的な運営がなされているか
- ②サービスの質の向上がなされているか
- ③地域との連携が図られているか

本委員会をこれらの評価・検討を行う懇談会に移行するために、令和 7 年度末をもって廃止としたい。また、令和 8 年度から前述の懇談会の設置に向けて評価・検証項目の設定に向けて準備を進めていきたい。

3 評価項目及び評価基準について

別紙 1 は現在柏市において指定管理者による管理運営状況の確認及び評価する際に使用されているものである。また、別紙 2 は過日実施したプロポーザル方式選定の際に使用した採点表である。これらの別紙を基に評価項目及び評価基準を定め、次回の委員会にて委員の皆様方に提案したい。